



学会・研究会・講演会
などのお知らせ

ヘルスケアワーカーキャリア学会キックオフ・フォーラム

テーマ：ヘルスケアワーカーはキャリアをどうデザインするか

日時：10月8日(月・祝)10:00～16:00

会場：ナーシングアート大阪レモンホール(大阪市城東区)

プログラム：キックオフ・スピーチ 勝原裕美子(ヘルスケアワーカーキャリア学会設立発起人代表)／講演1「節目のキャリア・デザイン」金井壽宏(神戸大学大学院経営学研究科教授)／リレートーク「キャリアのパラエティ」／アクティブ・ラーニング「自分のキャリアをどう活かすか?」／講演2「ヘルスケア業界におけるキャリア支援」西尾久美子(京都女子大学現代社会学部現代社会学科教授)／座談会「ヘルスケアワーカーのキャリア・デザイン」山川智之(大阪府理学療法士会会長)、勝原裕美子、金井壽宏、他
対象者：ヘルスケアに関わるすべての人

参加費：6000円(資料代含む)

申し込み方法：hccareer.peatix.comからチケット購入

定員：300名

問い合わせ：事務局

☎ uoray@live.jp

日本看護協会 看多機運営セミナー

テーマ：地域に根付き、地域を支える看多機を作るには

日時：10月10日(水)9:30～15:10

会場：日本看護協会 JNA ホール(東京都渋谷区)

プログラム：講演①「看多機創設期

からの動向と今後の展望(仮)」荒木曉子(日本看護協会常務理事)／②「看護職・介護職の協働のポイント(仮)」橋本美香(東北文科大学短期大学部人間福祉学科教授)／③「横浜市における看多機の推進(仮)」秋山直之(横浜市健康福祉局高齢健康福祉部介護事業指導課課長補佐)／事例紹介①「看護職・介護職の協働と人材育成(仮)」福田裕子(まちのナースステーション八千代統括所長)／②「重症者への対応と看取り(仮)」山根優子(ホットケアセンター社長)／③「共生型サービスへの取組み(仮)」林田奈緒美(リンデン代表取締役)／④「地域とのコミュニケーションのとり方(仮)」上野幸子(佐賀市在宅医療・介護連携センター相談員)／事例紹介・質疑／全体討議

対象：看多機事業者(管理者など)、看多機開設を予定または検討している事業者など、市町村・都道府県介護保険担当

定員：210名(応募多数の場合は1事業所あたり1名までの場合あり)

参加費：会員 5000円、非会員 7000円

申し込み締切：9月28日(金)

申し込み方法：協会 web ページ申込フォームから。

問い合わせ：日本看護協会医療政策部在宅看護課

☎ 03-5778-8804(9:00～17:00)

☎ zaitaku@nurse.or.jp

URL www.nurse.or.jp/

重い病氣を持つ子どもと 家族を支える財団 講演会・スペシャル対談

テーマ：すべての子どもを育む社会を目指して—医療的ケアの必要な子どもと家族を社会で支えるために

日時：10月14日(日)13:00～

会場：成城ホール(東京都世田谷区)

プログラム：基調講演「医療的ケアを必要とする子どもと家族の現実—“病む”ということ」久保田雅也(国

立成育医療研究センター神経内科)／講演「世田谷区の取り組みについて」保坂展人(世田谷区長)／講演「もみじの家の取り組みについて」内多勝康(国立成育医療研究センター)／スペシャル対談「『病、市に出せ』—SOS発信をうながす格言と生き心地の良いコミュニティ」岡檀(情報・システム研究機構統計数理研究所医療健康データ科学研究センター特任教授)、久保田雅也

定員：325名(事前申込制、定員次第締め切り)

参加費：無料

問い合わせ：キッズファム財団事務局

☎ 03-5494-1230

URL kidsfam.or.jp

第19回日本臨床リハビリテーション心理研究会

日時：10月21日(日)

会場：済生会東神奈川リハビリテーション病院(横浜市神奈川区)

テーマ：リハビリテーションにおける意思決定のプロセス

プログラム：基調講演「これからの意思決定手法—Shared decision making」藤本修平(豊通オールライフチーフマネージャー)／シンポジウム「意思決定プロセスについて」江端広樹(済生会東神奈川リハビリテーション病院院長)、南谷晶(東海大学医学部付属八王子病院リハビリテーション技術科科長)、笹島京美(なないろナーサリー副園長)／事例検討

参加費：医師・歯科医師 6000円、その他 3000円

事前申し込み期限：10月20日(土)(当日参加可)

申し込み方法：名前、所属、職種、メールアドレスを記載の上、下記に送付。

申し込み・問い合わせ：

☎ rehabiliopsychology@gmail.com

URL higashikanagawa.saiseikai.or.jp/access/

第 77 回 日本公衆衛生学会総会

日時：10月24日(水)～26(金)

会場：ビッグパレットふくしま(福島県福島市)

テーマ：ゆりかごから看取りまでの公衆衛生—災害対応から考える健康支援

プログラム：

[1日目]

開会式／総会／学会長講演／特別講演1「福島第一原子力発電所の事故の概要、および福島の復興について」座長：安村誠司(福島県立医科大学公衆衛生学教授)、演者：田中俊一(福島県飯館村復興アドバイザー)／特別講演2「国連・持続可能社会目標(SDGs)と公衆衛生への期待」座長：安村誠司、演者：有本建男(政策研究大学院教授)／ランチョンセミナー／シンポジウム／メインシンポジウム／教育講演／一般演題(口演、ポスター)／フォーラム／自由集会／

[2日目]

シンポジウム／教育講演／一般演題(口演、ポスター)／ランチョンセミナー／自由集会／意見交換会

[3日目]

シンポジウム／教育講演／一般演題(口演、ポスター)／ランチョンセミナー／市民公開講座／自由集会

事務局：実行委員会事務局・学術部会事務局(福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座内)

運営事務局：コンベンションリンクエージ LINKAGE 東北

〒980-6020 仙台市青葉区中央4-6-1 SS30ビル20階

☎ 022-722-1657

FAX 022-722-1658

☎ jsph77@c-linkage.co.jp

栃木県小児在宅医療体制構築事業 第 3 回小児在宅医療に 関わる多職種研修会

テーマ：医療的ケア児の育ち・学

び・暮らしを支える

日時：10月28日(日)10:00～16:00

会場：那須赤十字病院マイタウンホール(栃木県大田原市)

内容：講話1「小児在宅医療と多職種連携—子どもと家族の暮らしをみつめて」高橋昭彦(ひばりクリニック院長)／講話2「医療的ケア児を育てる家族の立場から—きょうだい二人と一緒に同じ保育園に通いたい」岡田絵莉香／シンポジウム「県北地域の子どもの現状報告」齋藤雅美(栃木県県北健康福祉センター係長)、三浦知津子(訪問看護ステーションゆりの木管理者)、後藤尚美(あいのかわ福祉会)／質疑応答／各県域に分かれてグループワーク(事例検討)

対象者：医療職、福祉職、教育関係者、栄養士など

参加費：無料

定員：80名

申し込み方法：www.npourizn.org/20181028tashokushu/の申込フォームから。または申込用紙をダウンロード、必要事項を記入して下記FAXに送信

申し込み締切：10月16日(火)

問い合わせ：事務局うりずん(担当：金澤)

〒321-2116 栃木県宇都宮市徳次郎町365-1

☎ 028-601-7733

FAX 028-665-7744

☎ syounizaitaku@hibari-clinic.com

URL www.npourizn.org/

東京 HIV と性の教育 セミナー 2018

日時：11月3日(土・祝)13:00～16:30

会場：日本性教育協会セミナールーム(東京都文京区)

プログラム：「性の教育 UPDATE —それぞれの立場から」改訂委員の立場から：改訂の背景、改訂のポイントと課題 池上千寿子、「当事者・外部講師の立場から：子どもた

ちに伝えたいこと」加藤力也、「支援者の立場から：学校教育の落とし穴、LGBTの性の健康」生島嗣／グループワーク「『手引き』の活用と工夫について意見交換」

対象：教育現場で性教育・保健教育を実践している人、教職員、養護教諭、保健師、助産師など

定員：30名

参加費：1000円(『教職員のための指導の手引き—UPDATE! エイズ／性感染症』付き)

申し込み方法：ptokyo.org/news/10029の申込フォームから(要事前申し込み)。

問い合わせ：ぶれいす東京セミナー係

☎ office@ptokyo.org

☎ 03-3361-8964

FAX 03-3361-8835

マインドフル セルフ・コンパッション 5日間集中プログラム

日時：11月9日(金)～11月14日(水)

会場：関西セミナーハウス(京都市左京区)

内容：マインドフルネスを土台に、セルフ・コンパッション(自分への思いやり・慈悲)のスキルを育むように段階的に作られたマインドフルセルフ・コンパッション Mindful Self-Compassion(MSC)。MSCは心理療法ではなく、あくまで心理教育だが、セルフ・コンパッション(自分への思いやり)を与えながら自分の内面とじっくりと向き合うため、さまざまな心の動きや深まりが現れる。参加者一人一人が安心して安全に進められるよう、国内在住唯一のMSC Trained teacherとプログラム創始者が、細やかに配慮しながら気付きや変容をサポートする。

スケジュール：

[1日目]

受付・チェックイン／セッション開始

[2～5日目]

早朝のMSC瞑想(任意参加)／午前

のセッション／午後のセッション／
晩のセッション／沈黙のひととき
(会話をお休み)

[6日目]

早朝の MSC 瞑想(任意参加)／午前
のセッション

※プログラムには、短めの講義や、
体験的な心のエクササイズ、瞑想、
グループでの話し合い、自身での練
習等が含まれる

講師：クリス・ガーマー(ハーバ
ード大学メディカルスクール)、岸本
早苗(京都大学大学院医学研究科)

対象：初心者歓迎、瞑想経験は問わ
ない

受講費：12万9000円、岸本によ
る過去の8週間または2日間プロ
グラム受講生11万9000円

滞在費：7万9000円、岸本による
過去の8週間または2日間プロ
グラム受講生6万9000円(関西セミ
ナーハウス、5泊、食事付き)

※部屋は、基本的にはツインまたは
トリプルの相部屋。部屋の割り当て
は、申し込み先着順に主催者が行
う。同室希望がある場合は名前を申
し込み時に記入

※奨学金を必要とする場合は参加費
減免の選考を行う。経済的に困難な
事情のある場合は詳細を知らせ、相
談。金額は全て税込。

申し込み方法：mindfulcare.jp/eve
nts/5dayintensive/ のフォームから。

問い合わせ：

☒ 5daymsc@mindfulcare.jp

2018年度 ブックスタート 研修会 in 三重

日時：2018年11月13日(火)10:
30~16:00

会場：三重県総合文化センター(三
重県津市)

テーマ：出会う・つながる・語りあう

プログラム：報告(NPO ブックス
タート)／事例紹介(三重県いなべ
市、多気町)／ワークショップ
「ブックスタートを語りあおう」

対象：市町村職員・ボランティア

(ブックスタートを実施中／実施検
討中の自治体)

定員：80名(事前申込制)

参加費：無料

申し込み方法：下記 URL 申込フォー
ムから

申し込み締切：11月5日(月)

☎ 03-5228-2891

FAX 03-5228-2894

URL www.bookstart.or.jp/news/2018_mie/

日本こころの安全とケア学会 第1回学術集会・総会

テーマ：「The first step! 伝承と発
展」

日時：12月1日(土)~2日(日)

会場：都立松沢病院体育館(東京都
世田谷区)

内容：理事長講演／特別講演／研究
論文発表／実践報告／シンポジウム
／ミニ・セミナー① CVPPP 研修講
義のコツ、② CVPPP 研修実技のコツ

参加費：(事前申し込み)会員 3000
円、非会員 4000円、(当日参加)会
員 4000円、非会員 5000円

問い合わせ：学術集会事務局

〒156-0057 東京都世田谷区上北
沢 2-1-1

☎ 03-3303-7211(内線 2207, 9002)

☒ mt_coco.an-care1@tmhp.jp

全国訪問看護事業協会

小児訪問看護研修会

内容：子どもを支える訪問看護の実際

日時：12月15日(土)10:00~17:00

会場：OMM ビル会議室(大阪市中央
区)

プログラム：「小児の疾患と病態生
理の理解」竹本潔(大阪発達総合療
育センター小児科部長)／「小児看護
の基本的理解」倉田慶子(東邦大学
看護学部看護学科在宅看護学助教)

対象：訪問看護に従事する看護師など

定員：約100名

参加費：会員 7000円、非会員 2万
1000円

訪問看護ターミナルケア集中講座

内容：訪問看護が支える在宅ターミ
ナルケア

日時：2019年2月14日(木)~16
日(土)

会場：中央法規ビル会議室(東京都
台東区)

プログラム：

[1日目]

「在宅ターミナルケアの考え方と取
り巻く法的知識」宮田乃有(なごみ
訪問看護ステーション副所長)／「在
宅ターミナルのプロセスとケアのポ
イント」宮田乃有／「在宅ホスピス
緩和ケアの実際・病院以外での相談
支援の試みー『がんとともに生き
る』を支える」秋山正子(マギーズ
東京センター長)

[2日目]

「ガン治療の現状と動向」和田忠志
(いらはら診療所在宅医療部長)／
「ターミナル期における退院支援の
進め方と実際」宇都宮宏子(在宅ケ
ア移行支援研究所宇都宮宏子オフィ
ス)／「事例検討ー意思決定支援の
実際」高砂裕子(南区医師会訪問看護
ステーション管理者)

[3日目]

「緩和ケアにおける薬物療法」池田
里江子(埼玉県薬剤師会)／「訪問看
護におけるターミナル期の疼痛コン
トロール・症状緩和の実際」中島朋
子(東久留米白十字訪問看護ステー
ション管理者)／「臨死期のケアと専
門職が行うエンゼルケア」中島朋子

対象：訪問看護に従事する看護師など

定員：約40名

参加費：会員 4万円、非会員 8万円

以下共通

申し込み方法：協会 web ページ
([www.zenhokan.or.jp/mailform-trai
ning30/](http://www.zenhokan.or.jp/mailform-training30/)) の申込フォームから。ま
たは参加申込書に必要事項を記入し
て下記 FAX に送信。

問い合わせ：全国訪問看護事業協会
事務局

☎ 03-3351-5898

FAX 03-3351-5938

URL www.zenhokan.or.jp/